

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 中央区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	地域でつくろうささえ愛支援事業 ～赤ちゃんからお年寄りまで～
事業目的・概要	赤ちゃんからお年寄りまでの幅広い世代を対象に、地域の抱える福祉分野の課題を解決する地域内の支えあいづくりを目的とする。 上記目的の達成をかかげる事業を募集し、自治協委員との協働により、その事業の効果を高める。 このほか、区が実施する福祉・協働分野にかかる取り組みについて、助言やサポートを行い、実効性の向上を図る。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【提案型による協働事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業募集にかかるチラシの作成</li> <li>○申請事業に対するサポート検討</li> <li>◇万代島こども秘密基地 主催者:みなとわいわいプロジェクト (2月29日, 3月1日) 集客が課題となっている万代島多目的広場にて、親子で遊べる場を提供し、万代島地区の賑わい創出を図る。同時に、福祉分野としては、障がい福祉関連のブース(視覚障がい体験, 親子手話など)を設置する。集客は1万人を想定。</li> </ul> <p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共施設への広報ポスター掲示による周知を行う。</li> <li>② 学生ボランティアへの協力依頼を行う。</li> <li>③ 当日見学や簡単なボランティア活動をし、所見をフィードバックする。</li> </ul> <p>⇒コロナウィルス感染症の影響により、イベント開催中止。</p> <p>【区の取り組みへの支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「自治会長・町内会長 感謝の集い」</li> <li>◇講演会の企画とアンケート作成に対する支援</li> </ul>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2部会は地域コミュニティ協議会の地域団体のほか、福祉分野で活躍する区支えあいくみづくり会議や、はっぴいmama応援団、新潟青陵大学福祉心理学部といった専門分野に関わる委員らで構成している。</li> <li>○福祉分野の興味・関心のある課題として、少子高齢化を背景とする高齢者へのケアやこどもを含めた地域の中での居場所づくりの必要性が挙がる一方で、具体的な対応策としてどのような課題解決がなされているのかを知りたい、知らないという意見が多かった。</li> <li>○そこで、福祉分野の地域課題を解決しようとする取り組みを募集・サポートし、第2部会と協働することで効果が高まるような提案型協働事業を募集することとした。</li> <li>○部会で意見を出し合いながら募集チラシを作成し、広報手段として区ホームページや区だよりへの掲載、福祉関連施設、中央区民生委員へのチラシ配布を行ったが、申請が現状1件に留まっている。申請があった事業1件については、コロナウィルス感染拡大の影響により、残念ながら開催中止となってしまったが、面談を経て、サポート内容まで決定し、協働で事業を進めていくことができた。</li> <li>○来年度は、福祉関係者から支援を必要としている現場を聞き取り、チラシの配布先の再検討や団体への直接的な働きかけを行い、申請件数の増加を図る必要がある。</li> <li>○部会としては、講師の紹介やノウハウの提供、区役所や地域とのつなぎ、助成金情報の提供など、事業効果を高める支援を考えており、引き続き、実態把握のうえ、広報し、事業支援へとつなげていきたい。</li> <li>○区の取り組みへの支援としては、「自治会長・町内会長 感謝の集い」の講演テーマ及び講師選定への助言やアンケート項目の検討など、区が実施する事業のサポートを行うことで、事業効果を高めることができた。</li> </ul>
備考	